様式１０

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2020 年　4 月　27 日

都道府県知事　殿

病院名　国家公務員共済組合連合会　舞鶴共済病院
開設者　病院長　布施　春樹　　印

医師法第１６条の２第１項に規定する臨床研修に関する省令（平成１４年厚生労働省令第１５８号）第１２条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第９条に基づき、１．研修プログラムの変更、２．研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

(1) 基幹型臨床研修病院　２.協力型臨床研修病院　（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

・項目番号１から２５までについては、年次報告において記入してください。
・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号２６から３６までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：　030489　　臨床研修病院の名称：国家公務員共済組合連合会　舞鶴共済病院

記入日：西暦 2020 年　4 月　27 日

病院施設番号 （基幹型、協力型記入） 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	030489	臨床研修病院群の名称 （基幹型、協力型記入） 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称　舞鶴共済病院臨床研修病院群 番号　0304892

作成責任者の氏名及び連絡先 （基幹型、協力型記入） 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	ﾌﾘｶﾞﾅ　ヨシダ　　カヨ 氏名（姓）　吉田 （名）　佳代	役職　医療管理課　課長代理 （内線　777　） （直通電話（0773）62―2510　） e-mail：yoshida_kayo@maiduru.com （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）	

１．病院の名称 （基幹型、協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ コッカコウムインキョウサイクミアイレンゴウカイ　マイヅルキョウサイビョウイン 国家公務員共済組合連合会　舞鶴共済病院
２．病院の所在地及び二次医療圏の名称 （基幹型・協力型記入）	〒 6 2 5－8 5 8 5　（　京都　都・道・府・県） 舞鶴市字浜 1035 番地 電話：（0773）62―2510　ＦＡＸ：（0773）64―4301 二次医療圏 の名称：　中丹
３．病院の開設者の氏名（法人の名称） （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　コッカコウムインキョウサイクミアイレンゴウカイ 国家公務員共済組合連合会
４．病院の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地） （基幹型・協力型記入）	〒 1 0 2－8 0 8 1　（　東京　都・道・府・県） 千代田区九段南 1-1-10　九段合同庁舎 電話：（03）3222―1841　ＦＡＸ：（03）3222―3715
５．病院の管理者の氏名 （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　フセ　ハルキ 姓　布施 名　春樹
６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 （基幹型記入）	＊　別紙１に記入 研修管理委員会のすべての構成員（協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。）について記入してください。
７．病院群の構成等 （基幹型記入）	＊　別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。
８．病院のホームページアドレス （基幹型・協力型記入）	http://www.kkr.or.jp/hospital/maizuru/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：　030489　　臨床研修病院の名称：国家公務員共済組合連合会　舞鶴共済病院

		※	
９．医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：　35　名、非常勤（常勤換算）：　5.5　名 計（常勤換算）：　40　名、医療法による医師の標準員数：　27　名 ＊　研修医の氏名等について様式３に記入
１０．救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 1967 年　9 月 26 日、告示番号：京都府　第　449 号
	医療計画上の位置付け		１．初期救急医療機関　(２．)第二次救急医療機関　３．第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		(１．)有　（　128.35　）ｍ^2　　０．無
	救急医療の実績		前年度の件数：　5,244　件（うち診療時間外：　4,303　件） １日平均件数：　14.3　件（うち診療時間外：　11.7　件） 救急車取扱件数：　1,353　件（うち診療時間外：　807　件）
	診療時間外の勤務体制		医師：　2　名、看護師及び准看護師：　2　名
	指導を行う者の氏名等		＊　別紙４に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（１．)有　０．無）　外科系（１．)有　０．無）　小児科（１．)有　０．無） その他（　　）
１１．医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1.一般：　300　床、2.精神：　　床、3.感染症：　　床 4.結核：　　床、5.療養：　　床
１２．診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊　別紙２に記入
１３．病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1.一般：　12.4　日、2.精神：　．　日、3.感染症：　．　日 4.結核：　．　日、5.療養：　．　日
１４．前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数：　354　件、異常分娩件数：　49　件
１５．臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績：　1　回、今年度見込：　2　回　※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等		＊　別紙４に記入　下に開催した回数を記載
	剖検数		前年度実績：　4　件、今年度見込：　2　件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室　(１．)有 ０．無　（　　）大学、（　　）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
１６．研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		(１．)有（単身用：　2　戸、世帯用：　0　戸） ０．無（住宅手当：　　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室		(１．)有（　１　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
１７．図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（　73.950　）ｍ^2
	医学図書数		国内図書：　50　冊、国外図書：　7　冊
	医学雑誌数		国内雑誌：　75　種類、国外雑誌：　71　種類
	図書室の利用可能時間		0　：　00　～　24　：　00　24 時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース(１．)有　０．無)、教育用コンテンツ(１．)有　０．無)、 その他（　　）
			利用可能時間（　00　：　00　～　24　：　00　）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター(１．)有　０．無)、 その他（　手技動画ストリーミングコンテンツ　）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－３－

病院施設番号：　030489　　臨床研修病院の名称：国家公務員共済組合連合会　舞鶴共済病院

１８．病歴管理体制 （基幹型・協力型記入）	病歴管理の責任者の氏名及び役職		ﾌﾘｶﾞﾅ　タナカ　ミユキ 氏名（姓）　田中　（名）　美幸 役職　医事課長
	診療に関する諸記録の管理方法		（１）．中央管理　２．各科管理 その他（具体的に：　）
	診療録の保存期間		（　20　）年間保存
	診療録の保存方法		１．文書　（２）．電子媒体 その他（具体的に：　一部混在　）
１９．医療安全管理体制 （基幹型・協力型記入）	安全管理者の配置状況		（１）．有（　１　名）　０．無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。
	安全管理部門の設置状況		職員：専任（　１　）名、兼任（　22　）名 主な活動内容：「事故事例やインシデント・アクシデント事例についての情報収集」「報告事例について分析・改善策の検討、関係部署への周知」「医療事故防止のための研修及び教育」
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等： ﾌﾘｶﾞﾅ　カツミ　シュンイチ 氏名（姓）　勝見　（名）　俊一 役職　患者相談支援室室長 対応時間（　8　：　30　～　17　：　00　）24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：（１．）有　０．無
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		（１．）有　０．無 指針の主な内容：「安全管理の目的」「安全管理に関する基本的な考え方」「安全管理体制の構築」「事故事例やインシデント・アクシデント事例の院内報告制度」
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年（　12　）回 活動の主な内容：「医療事故防止策の検討」「インシデント・アクシデント報告の分析・評価と対策」「マニュアルの作成・整備」「医療安全管理教育の実施」「医療安全管理活動の推進」
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年（　2　）回 研修の主な内容：「せん妄と認知症」「医療事故の発生メカニズムとチーム医療」
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備：（１．）有　０．無 その他の改善のための方策の主な内容：「医療事故防止マニュアルの作成・整備」「医療安全管理に係る院内各専門委員会との連携」
２０．前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			修了：　0　名 中断：　0　名
２１．現に受け入れている研修医の数 （基幹型・協力型記入）			前々年度 / 前年度 / 当該年度 １　年：0 / 1 / 0 ２　年：0 / 0 / 0
２２．受入可能定員 （基幹型・協力型記入）	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出		許可病床数（　300　）床÷１０＝（　30　）名
	患者数から算出		年間入院患者数（　5,826　）人÷１００＝（　58　）名
２３．当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙５も提出すること。			○　派遣実績　0　名　→　募集定員加算　0　名 ※　募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。（記入要領 25 を参照） ○地域医療対策協議会等の意向の把握（　有　・　（無）　） ※　該当する方を○で囲むこと。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：　030489　　臨床研修病院の名称：国家公務員共済組合連合会　舞鶴共済病院

項目 25 までについては,報告時に必ず記入してください。		※	
２４.精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （基幹型・協力型記入） 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1.精神保健福祉士：　1　名（常勤：　1　名、非常勤：　0　名） 2.作業療法士：　1　名（常勤：　0　名、非常勤：　1　名） 3.臨床心理技術者：　0　名（常勤：　0　名、非常勤：　0　名） 9.その他の精神科技術職員： 0　名（常勤：　0　名、非常勤：　0　名）
２５．第三者評価の受審状況 （基幹型記入）			（1）．有　（評価実施機関名：日本医療機能評価機構　（2016 年　3 月　22 日）） ０．無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
２６．研修プログラムの名称 （基幹型・協力型記入） プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称： プログラム番号：＿＿＿＿＿＿＿＿
２７．研修医の募集定員 （基幹型記入）			１年次：　　名、２年次：　　名
２８.研修医の募集及び採用の方法 （基幹型記入）	研修プログラムに関する問い合わせ先		ﾌﾘｶﾞﾅ 氏名（姓）　（名） 所属　役職 電話：（　　）　ＦＡＸ：（　　） e-mail：＿＿＿＿＿＿＿＿ URL：＿＿＿＿＿＿＿＿
	資料請求先		住所 〒 □□□－□□□□　（　京都　都・道・府・県） 担当部門　担当者氏名　ﾌﾘｶﾞﾅ　姓　名 電話：（　　）　ＦＡＸ：（　　） e-mail：＿＿＿＿＿＿＿＿ URL：＿＿＿＿＿＿＿＿
	募集方法		１．公募 ２．その他（具体的に：　　）
	応募必要書類 （複数選択可）		１．履歴書、２．卒業(見込み)証明書、３．成績証明書、 ４．健康診断書、５．その他(具体的に：　　）
	選考方法 （複数選択可）		１．面接 ２．筆記試験 その他（具体的に：　　）
	募集及び選考の時期		募集時期：　　月　　日頃から 選考時期：　　月　　日頃から
	マッチング利用の有無		１．有　０．無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：　030489　　臨床研修病院の名称：　国家公務員共済組合連合会　舞鶴共済病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

２９．研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）			概要：＊　別紙３に記入 （作成年月日：西暦　　年　　月　　日）
３０．プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊　プログラム責任者の履歴を様式２に記入 ＊　副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式２に記入			（プログラム責任者） ﾌﾘｶﾞﾅ 氏名（姓）　　氏名（名） 所属　　役職 診療部 （副プログラム責任者） １．有（　１　名）　０．無
３１．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） すべての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。			＊　別紙４に記入
３２．インターネットを用いた評価システム			１．有（　・EPOC　・その他（　　）　）　０．無
３３．研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）			西暦　　年　　月　　日
３４．研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）		１．基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ２．病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別		１．常勤　２．非常勤
	研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（　　円） 賞与／年（　　円） 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（　　円） 賞与／年（　　円） 時間外手当：　１．有　０．無 休日手当　：　１．有　０．無
	勤務時間		基本的な勤務時間（　：　～　：　）24 時間表記 休憩時間（　）
			時間外勤務の有無：１．有　０．無
	休暇		有給休暇（１年次：　　日、２年次：　　日） 夏季休暇（１．有　０．無） 年末年始（１．有　０．無） その他休暇（具体的に：　　）
	当直		回数（約　3　回／月）
	研修医の宿舎（再掲）		１．有（単身用：　　戸、世帯用：　　戸） ０．無（住宅手当：　　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室（再掲）		１．有（　　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険		公的医療保険（　　） 公的年金保険（　　） 労働者災害補償保険法の適用（１．有　０．無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（１．有　０．無） 雇用保険（１．有　０．無）
	健康管理		健康診断（年　　回） その他（具体的に　　）
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（１．する　０．しない） 個人加入（１．強制　０．任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：１．可　０．否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：１．有　０．無
３５．研修医手帳（基幹型記入）			１．有　０．無
３６．連携状況（基幹型記入）			＊　様式６に記入

※欄は、記入しないこと。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：　国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院　（　京都府　）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
京都府		国家公務員共済組合連合会　舞鶴共済病院 （病院施設番号：　030489　）		京都府	京都・乙訓		京都府立医科大学附属病院 （病院施設番号:030483）					（病院施設番号：　）		舞鶴共済病院臨床研修病院群臨床研修プログラム	2
				福井県	坂井		福井大学医学部附属病院 （病院施設番号:030331）					（病院施設番号：　）		舞鶴共済病院臨床研修病院群臨床研修プログラム	2
				京都府	中丹		独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター （病院施設番号:030471）					（病院施設番号：　）		舞鶴共済病院臨床研修病院群臨床研修プログラム	2
				京都府	中丹		市立福知山市民病院 （病院施設番号:031728）		福井県	嶺南		高浜町国民健康保険　和田診療所 （病院施設番号:056101）		舞鶴共済病院臨床研修病院群臨床研修プログラム	2
							（病院施設番号：　）		福井県	嶺南		独立行政法人地域医療機能推進機構　若狭高浜病院 （病院施設番号:076516）		舞鶴共済病院臨床研修病院群臨床研修プログラム	2
							（病院施設番号：　）					（病院施設番号：　）			
							（病院施設番号：　）					（病院施設番号：　）			
							（病院施設番号：　）					（病院施設番号：　）			
							（病院施設番号：　）					（病院施設番号：　）			
							（病院施設番号：　）					（病院施設番号：　）			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

東舞鶴地区にある当院は福井県境と隣接しており、当院の生活圏や診療圏は福井県嶺南地方まで及んでいる。地域医療の上での連携も強く、福井大学からの十分な診療体制の下で、多彩な症例経験が可能となるため、同一都道府県を越えた病院群の構成で研修システムを構築できる。また、福井大学からの医局派遣の医師が往来しており、日常的に診療や臨床研修について機能的な連携が当院と大学の間で緊密に行われており、地域医療との連携もスムーズに行われている。

※　該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※　当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。